

平成26年 4月14日

# 生命システム科学特別講義

下記のとおり招聘講師による生命システム科学特別講義「分子生命科学」を開催いたしますので、受講大学院生以外にも興味のある方は（学部生も可）ご参集くださいますようにご案内申し上げます。

## 記

日 時：平成26年 5月14日（水曜日）

午後1時～午後2時半

場 所：庄原キャンパス2201講義室

遠 隔：広島キャンパス1239講義室

三原キャンパス4209講義室

講 師：大阪大学微生物病研究所

分子遺伝研究分野 准教授

藪田 紀一（Norikazu Yabuta）

—Hippo pathwayとがん幹細胞—  
(Hippo pathway and cancer stem cells)

Hippo pathwayは発生や分化の過程において器官サイズを決定するための新しい細胞内シグナル伝達経路です。また、Hippo pathwayはヒトがん細胞の主な生物学的特徴である細胞の異常増殖と染色体の分配異常を制御していることがわかってきたため、がん抑制の重要な分子機構のひとつであると考えられます。一方で、がん治療において大きな障壁となっている「転移」や「再発」の原因のひとつとして“がん幹細胞”が国内外で注目されていますが、最近Hippo pathwayがこの分子機構の一部を担っていることがわかってきました。本講義では、Hippo pathwayを中心にがんの悪性化及びがん幹細胞化の分子メカニズムを紹介します。

連絡先：庄原C（5303）達家雅明  
ゲノム制御システム生物学（オーロラ）研究室